



# 美々津中学校 スポーツフェスタ2020



## スポーツフェスタ2020の感謝と恩返し

3年 河野美空

ソーシャルディスタンス、3密回避・・・「なんやこれ」第一声はこれでした。いつの間にかこの言葉を知らない人は世の中にはいないほど当たり前になりました。私たちは新たなウイルスに会い、失望していました。そんな中に開催された体育大会、「美々津中学校スポーツフェスタ2020」。午前中だけの短い時間でしたが、この行事のおかげでたくさんの希望を持つことができました。

9月の初め、全学年が集合し、スポーツフェスタという新たな行事に向けての練習が始まりました。3年目となる美中ソーランを絶対に成功させる、スポーツフェスタ全体のクオリティーを落とさない。私たち生徒だけでなく、先生方も同じ目標を持っていました。私は校長先生がおっしゃった半沢直樹の「感謝と恩返し」という言葉に感動し、絶対にこの目標を達成しようと強く思いました。

一日一日とスポーツフェスタに近づくとともに美中ソーランのクオリティーも上がっていきました。そして、本番の2、3日前には台風が近づいていることが分かりました。しかしスポーツフェスタ当日は台風など感じさせない天気で実施することができました。

いろんな種目を行い、美中ソーランの時には今まで以上に声を出して動いて最後の「HOPE」、希望を届けることができました。

私はこのスポーツフェスタの実施を通してたくさんの感謝をすることができました。まだまだこのコロナウイルスは人を襲ってくると思いますが、ウイルスに負けない心と体で明るい未来に向かって前進し続けます。

## 学力向上週間



学力を向上させるには、理解できない問題を解けるようになること。これは、誰だって分かっています。どうしたら理解できるようになるのか。その一つとして、先生に聞くことです。今回の学力向上週間は、廊下で先生たちがスタンバイして、そこに生徒が聞きに行く形式でした。3年生は実力テストも実施されるということで、多くの生徒が聞いていました。理解できない問題ができるようになるから、面白くなるんですね。つまり、自ら動かないと問題は解決できません。

## 身だしなみとマナー ( フェニックスリゾート株式会社 人材開発部 )



昨年に引き続き、今年度もフェニックスリゾート株式会社の染矢幸子さんに来校していただき、講話を聴くことができました。キャリア教育で絶対にぶれてはいけない「身だしなみとマナー」。身だしなみは、働く場所で規定が違いますが、基準になるのは、相手が嫌な気持ちにならないようにすることです。学校で校則があるのも同じです。時の流れによって、変わっていく校則もあれば、変わってはいけない校則もあります。学校が制服なのも意味があるのです。制服は、安全・安心のためにあるのと同時に、制服を着ている人にも責任がともないます。美々津中の生徒の一人として、いつでも誇りをもって制服を着こなし身だしなみを大切にしていきたいと思います。周りの人が安心できるように・・・